

環境政策係

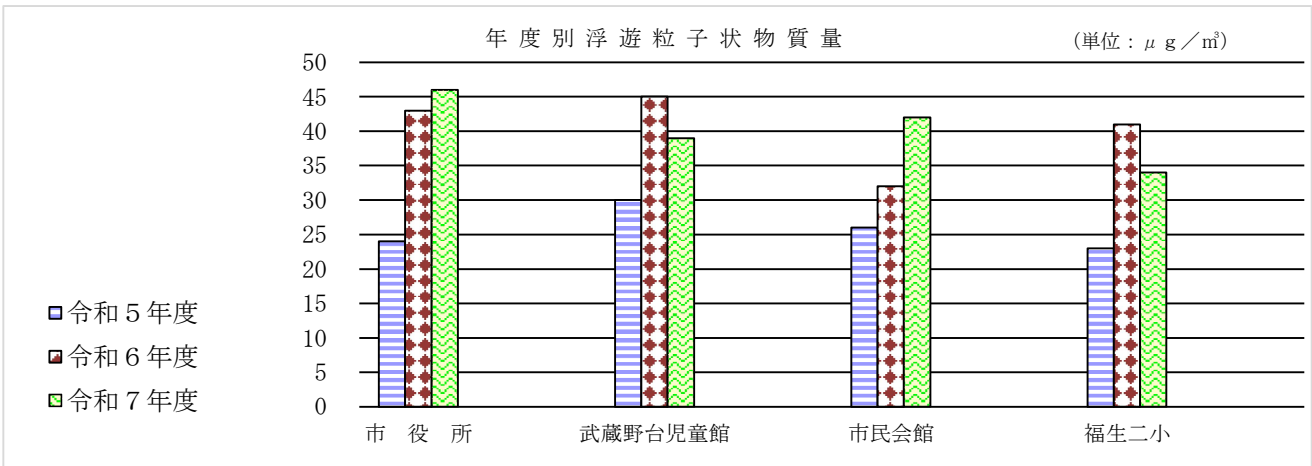
1 大気汚染調査

(1) 浮遊粒子状物質量及び浮遊粒子状物質中に含まれる重金属量

調査期間：令和8年2月17日から20日まで

調査地点：市内4か所

ア 浮遊粒子状物質量



区 分	市 役 所	武蔵野台児童館	市民会館	福生二小
令 和 5 年 度	24	30	26	23
令 和 6 年 度	43	45	32	41
令 和 7 年 度	46	39	42	34

イ 浮遊粒子状物質中に含まれる重金属

(単位： $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

調査地点・年度 調査項目	市 役 所		武蔵野台児童館		市民会館		福生二小		指針値
	令和7年度	前年度	令和7年度	前年度	令和7年度	前年度	令和7年度	前年度	
鉛	0.003	0.001	0.003	0.002	0.003	0.002	0.003	0.002	—
マンガン	0.017	0.011	0.020	0.018	0.017	0.017	0.017	0.017	0.140
バナジウム	0.002	0.001	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	0.002	—
全クロム	0.002	0.001	0.003	0.001	0.002	0.001	0.002	0.001	—

※ μg (マイクログラム) は100万分の1g

※数値は、1日平均の3日間平均の量である。

(2) 燃料に含まれるイオウ分

調査日：令和8年2月5日、18日

調査対象事業所数：2事業所（燃料使用量300L／日以上）

No	燃料の種類(重油)	1日の最大使用量(L/日)	イオウ含有量(W t %)		基準値(W t %)
			令和7年度	前年度	
1	特A	1,000	ND	ND	0.8
2	特A	1,200	ND	ND	

※W t %：質量パーセント、検出下限値0.05

※ND：定量下限値未満

(3) 二酸化窒素 (NO₂)

調査日：令和8年3月12日、13日

調査地点：市内7地点

(単位：ppm)

No	調査地点(交差点)	測定値		環境基準
		令和7年度	前年度	
1	武蔵野橋北	0.010	0.018	0.06
2	武蔵野橋南		0.012	
3	熊川内出	0.010	0.011	
4	第五ゲート前	0.013	0.013	
5	福生志茂南	0.010	0.009	
6	多摩橋北		0.009	
7	福生駅西	0.009	0.011	
8	福生加美		0.009	
9	福生加美平	0.009	0.008	
10	福生市役所前		0.008	
11	武蔵野台北	0.009	0.009	
12	第二ゲート前		0.019	

※数値は、1時間値の1日平均値である。

(4) 光化学スモッグ注意報発令状況

(単位：件)

月 地域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合 計
区 東部	0	0	0	0	3	0	0	3
区 北部	0	0	0	0	2	1	0	3
区 西部	0	0	0	0	3	0	0	3
区 南部	0	0	0	0	3	0	0	3
多摩北部	0	0	1	0	2	0	0	3
多摩中部	0	0	1	1	1	0	0	3
多摩西部	0	0	0	0	1	0	0	1
多摩南部	0	0	0	0	1	0	0	1
合 計	0	0	2	1	16	1	0	20

※多摩西部の測定地点は、福生市本町及び青梅市東青梅である。

2 水質調査

(1) 河川及び下水道（雨水管）

pH(水素イオン濃度) …酸性・アルカリ性の度合いの指標

BOD(生物化学的酸素要求量) …微生物に分解されやすい有機物量の目安

SS(浮遊物質質量) …1μm以下のフィルターに残存する成分の量

ア 多摩川（河川）

区分	5月	7月	9月	11月	1月	3月	環境基準
pH	令和7年度	8.0	8.2	8.3	8.4	8.1	7.8
	令和6年度	8.0	7.8	8.2	7.9	8.1	7.8
	令和5年度	8.2	7.9	8.1	8.2	7.7	8.2
BOD	令和7年度	0.5	0.7	1.2	ND	ND	0.8
	令和6年度	0.3	0.6	0.6	ND	0.3	ND
	令和5年度	1.3	0.7	1.4	0.8	0.7	1.1
SS	令和7年度	ND	0.5	1.5	0.5	0.5	1.0
	令和6年度	2.0	3.0	0.5	1.0	ND	ND
	令和5年度	1.5	ND	9.0	1.0	1.0	5.0

イ 下の川（河川）

区分	5月	7月	9月	11月	1月	3月	環境基準
pH	令和7年度	7.9	7.8	8.0	8.3	8.0	7.8
	令和6年度	7.8	7.7	8.0	7.9	7.8	7.9
	令和5年度	7.4	7.7	7.8	7.9	7.7	8.0
BOD	令和7年度	0.5	0.2	0.9	0.7	4.4	0.6
	令和6年度	0.2	0.4	0.7	ND	0.4	0.2
	令和5年度	1.2	0.6	1.2	2.5	0.9	0.8
SS	令和7年度	3.3	ND	1.0	ND	295.0	1.0
	令和6年度	1.3	1.7	3.0	0.7	ND	0.7
	令和5年度	1.0	0.7	2.3	1.3	0.3	1.3

ウ 都市下水路（雨水管）

区分	5月	7月	9月	11月	1月	3月	排水基準
pH	令和7年度	7.7	8.0	7.9	8.2	8.8	7.7
	令和6年度	7.9	7.8	8.0	7.9	7.9	7.9
	令和5年度	7.6	7.8	8.0	8.5	7.7	7.8
BOD	令和7年度	ND	0.5	1.1	ND	ND	0.6
	令和6年度	ND	ND	0.5	ND	1.2	ND
	令和5年度	0.6	0.6	3.6	1.0	0.6	ND
SS	令和7年度	ND	ND	ND	ND	3.0	2.0
	令和6年度	3.0	ND	1.0	ND	2.0	ND
	令和5年度	ND	ND	1.0	13.0	ND	ND

エ 本町幹線（雨水管）

区分	5月	7月	9月	11月	1月	3月	排水基準
pH	令和7年度	7.5	7.0	7.6	7.7	7.8	7.7
	令和6年度	7.7	7.6	7.7	7.8	8.2	7.7
	令和5年度	7.1	7.5	7.8			
BOD	令和7年度	0.6	1.0	1.4	ND	0.7	1.4
	令和6年度	1.0	0.8	0.9	0.7	0.5	ND
	令和5年度	1.6	1.5	1.9			
SS	令和7年度	ND	ND	ND	ND	2.0	1.0
	令和6年度	1.0	3.0	2.0	1.0	ND	ND
	令和5年度	2.0	ND	1.0			

※都市下水路及び本町幹線は、排出口での採水

※基準値（範囲）を超えているものは、色付けをしている。

※平成27年度より、定量下限値未満についてはNDに表記を統一（ND：定量下限値未満）

※令和5年度の「エ 本町幹線（雨水管）」の11月から3月までは国土交通省が実施する低水護岸工事により、調査地点が立入禁止区域となったため、欠測とした。

(2) 多摩川合同採水

採 水 年 度		令和 7 年度		令和 6 年度	
採 水 月 日		6. 5 (木)	11. 6 (木)	6. 6 (木)	11. 7 (木)
採 水 時 間		午前11時30分		午前11時30分	
流量	m ³ /sec	3. 9	2. 7	3. 4	2. 3
気温	℃	28. 0	21. 2	28. 0	18. 0
水温	℃	22. 1	16. 5	19. 0	15. 8
外観		無色透明	無色透明	無色透明	無色透明
臭気		無臭	無臭	無臭	弱藻臭
透視度	cm	>100. 0	>100. 0	>100. 0	92
pH (水素イオン濃度)		7. 8	9. 0	8. 1	8. 2
DO (溶存酸素)	mg/L	9. 9	12. 6	10. 5	10. 2
BOD (生物化学的酸素要求量)	mg/L	0. 6	<0. 5	0. 5	<0. 5
COD (化学的酸素要求量)	mg/L	1. 7	1. 2	1. 8	1. 7
SS (浮遊物質質量)	mg/L	<1	1	2	3
T-CN (シアン化合物)	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出
Pb (鉛)	mg/L	<0. 002	<0. 002	<0. 002	<0. 002
NH ₄ -N (アンモニア性窒素)	mg/L	<0. 01	0. 01	<0. 01	<0. 01
T-N (全窒素)	mg/L	1. 0	0. 80	1. 0	0. 97
PO ₄ -P (リン酸性リン)	mg/L	<0. 003	<0. 003	<0. 003	<0. 003
T-P (全リン)	mg/L	0. 006	0. 006	0. 003	0. 003
MBAS (陰イオン界面活性剤)	mg/L	<0. 02	<0. 02	<0. 02	<0. 02
ジクロロメタン	mg/L	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
四塩化炭素	mg/L	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
1, 2-ジクロロエタン	mg/L	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
1, 1-ジクロロエチレン	mg/L	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
シス-1, 2-ジクロロエチレン	mg/L	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
1, 1, 2-トリクロロエタン	mg/L	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
トリクロロエチレン	mg/L	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
テトラクロロエチレン	mg/L	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
1, 3-ジクロロプロペン	mg/L	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
ベンゼン	mg/L	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002	<0. 0002
チウラム	mg/L	<0. 0006	<0. 0006	<0. 0006	<0. 0006
シマジン	mg/L	<0. 0003	<0. 0003	<0. 0003	<0. 0003
チオベンカルブ	mg/L	<0. 0003	<0. 0003	<0. 0003	<0. 0003
セレン	mg/L	<0. 002	<0. 002	<0. 002	<0. 002
大腸菌数	CFU/100mL	32	35	80	25
カドミウム	mg/L	<0. 0003	<0. 0003	<0. 0003	<0. 0003
六価クロム	mg/L	<0. 01	<0. 01	<0. 01	<0. 01
ヒ素	mg/L	<0. 001	<0. 001	<0. 001	<0. 001
総水銀	mg/L	<0. 0005	<0. 0005	<0. 0005	<0. 0005
アルキル水銀	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出
PCB	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出
1, 4-ジオキサン	mg/L	<0. 005	<0. 005	<0. 005	<0. 005
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	0. 95	0. 77	0. 94	0. 69
全亜鉛	mg/L	0. 012	0. 006	0. 023	0. 005
ノニルフェノール	mg/L	<0. 00006	<0. 00006	<0. 00006	<0. 00006
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩	mg/L	0. 0025	<0. 0006	<0. 0006	<0. 0006
環 境 基 準		水域類型 A		水域類型 A	

(3) 地下水

測定日：令和7年8月29日

測定地点		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	基準値
検査項目												
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	2.2	5.6	2.1	1.9	1.2	<1.0	4.3	7.4	10	5.7	10以下
塩化物イオン	mg/L	3.0	7.9	4.6	2.7	2.5	1.0	4.9	5.8	8.6	5.7	200以下
有機物(TOCの量)	mg/L	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	<0.3	0.3	0.4	3以下
一般細菌	個/mL	520	3	130	110	11	12	5	13	75	2	100以下
大腸菌		検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	検出されないこと
鉄	mg/L	<0.03	0.06	0.05	0.04	<0.03	<0.03	0.19	<0.03	<0.03	<0.03	0.3以下
マンガン	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05以下
pH(水素イオン濃度)		6.3	6.4	6.6	6.4	6.5	6.6	6.7	5.9	5.9	6.3	5.8～8.6
臭気		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常でないこと
味		異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常なし	異常でないこと
色度	度	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	5以下
濁度	度	<1	<1	2	1	<1	<1	1	<1	<1	<1	2以下
トリクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
テトラクロロエチレン	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01以下
1, 1, 1-トリクロロエタン	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1以下

※基準値（範囲）を超えているものは、色付けをしている。

※地下水調査は、毎年度測定地点が異なる。

(4) 地下水中有機フッ素化合物

測定日：令和8年3月10日

測定地点		福生①	福生②	福生③	加美平	志茂①	志茂②	志茂③	熊川①	熊川②	熊川③	暫定指針値
検査項目												
PFOS	ng/L	4.6	6.1	6.3	12	19	0.4	10	5.2	14	8.4	
PFOA	ng/L	6.6	4.7	5.5	16	11	0.6	7.4	6.7	17	8.2	
PFOS・PFOA合計値	ng/L	11	10	11	28	30	1.0	17	11	31	16	50
PFHxS	ng/L	0.7	0.7	3.2	15	2.1	<0.1	2.8	0.5	1.1	0.8	

※本調査は定量下限値を0.3ng/L、有効桁数2桁で処理しているため、合計値が必ずしも「PFOS」と「PFOA」の和と一致しない。

(5) 工場排水

測定日：令和7年9月18日

(単位：mg/L [pHと水温を除く。])

検査項目	測定地点	A工場		基準値
		令和7年度	前年度	
pH (水素イオン濃度)		8.9	7.8	5.8～8.6
pH測定時水温		25.6	26.7	40℃以下
BOD (生物化学的酸素要求量)		2.8	2.1	160
COD (化学的酸素要求量)		8.4	33.0	160
SS (浮遊物質質量)		6	2	200
カドミウム及びその化合物		<0.003	<0.003	0.03
鉛及びその化合物		<0.01	<0.01	0.1
水銀、アルキル水銀及びその化合物		<0.0005	<0.0005	0.005
銅含有量		<0.05	<0.05	3
亜鉛含有量		<0.05	0.34	2
溶解性鉄含有量		0.05	0.15	10

※基準値 (範囲) を超えているものは、色付けをしている。

(6) 雨水管 (横田基地流入分)

測定日：令和7年7月16日、令和8年2月25日

		多摩橋通り		五日市街道		武蔵野幹線		排水基準
項目	単位	7月	2月	7月	2月	7月	2月	
pH (水素イオン濃度)		6.3	7.5	8.1	7.5	7.5	7.5	5.8～8.6
BOD (生物化学的酸素要求量)	mg/L	2.5	3.3	1.6	2.3	2.4	3.5	160
SS (浮遊物質質量)	mg/L	33	5	18	11	7	5	200
ノルマルヘキサン抽出物	mg/L	<1	<1	<1	<1	<1	<1	30
フェノール類	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	5
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	0.7	0.3	0.3	0.3	0.2	0.3	*
六価クロム	mg/L	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	0.5
鉛及びその化合物	mg/L	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.1
カドミウム及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.03
総水銀化合物	mg/L	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.005
アンモニア性窒素	mg/L	0.02	0.08	0.04	0.15	<0.01	0.03	100
リン酸性リン	mg/L	0.007	<0.003	0.004	0.003	0.003	0.003	*
陰イオン界面活性剤	mg/L	0.03	<0.02	0.03	<0.02	0.02	0.05	*
有機リン化合物	mg/L	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	1
有機物 (TOCの量)	mg/L	2.9	1.9	1.9	1.3	1.9	2.7	*
セレン及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1
ヒ素及びその化合物	mg/L	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.1
全リン	mg/L	0.089	0.033	0.050	0.025	0.047	0.038	16
シアン化合物	mg/L	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	1

*は排水基準の設定なし

3 騒音調査

(1) 自動車交通量・騒音・振動調査

ア 交 通 量

(単位：台)

道 路 通 称	国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道	
測 定 場 所	横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	熊川1631番地先
用 途 地 域	近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業
車 線 数	4	4	2	2	2
測 定 日	令和7年 6月23日6時 ～24日6時	令和7年 6月23日6時 ～24日6時	令和7年 6月23日6時 ～24日6時	令和7年 6月23日6時 ～24日6時	令和7年 6月23日6時 ～24日6時
昼間 上り	19,146	9,072	6,642	3,576	4,926
昼間 下り	19,800	9,000	6,714	3,420	9,144
夜間 上り	3,012	1,092	678	264	1,050
夜間 下り	3,462	936	696	246	966
合 計	45,420	20,100	14,730	7,506	16,086
前年度合計	44,814	18,960	13,674	7,056	15,474

※都心方面を上り、逆を下りとする。

イ 騒 音

(単位：デシベル＝dB)

道 路 通 称	国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道	
測 定 場 所	横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	熊川1631番地先
用 途 地 域	近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業
車 線 数	4	4	2	2	2
測 定 日	令和7年 6月23日～27日 のうち3日間	令和7年 6月23日～27日 のうち3日間	令和7年 6月23日～27日 のうち3日間	令和7年 6月23日～27日 のうち3日間	令和7年 6月23日～27日 のうち3日間
騒音 (Leq)	昼 間	74	68	68	67
	前 年 度	76	70	71	69
	夜 間	73	65	64	62
	前 年 度	75	67	66	63
環境基準値	昼 間	70			
	夜 間	65			
要請限度	昼 間	75			
	夜 間	70			

※Leq＝等価騒音レベル

ウ 振 動

(単位：デシベル＝d B)

道 路 通 称		国道16号線	睦橋通り	新奥多摩街道	五日市街道	
測 定 場 所		横田ホーム前	真福寺付近	市役所前	さくら会館前	熊川1631番地 先
用 途 地 域		近隣商業	第一種住居	近隣商業	第二種中高層住居	準工業
車 線 数		4	4	2	2	2
測 定 日		令和7年 6月23日～27日 のうち3日間	令和7年 6月23日～27日 のうち3日間	令和7年 6月23日～27日 のうち3日間	令和7年 6月23日～27日 のうち3日間	令和7年 6月23日～27日 のうち3日間
振 動 (L 1 0)	昼 間	39	31	34	29	56
	前 年 度	40	30	33	25	55
	夜 間	39	27	30	25	50
	前 年 度	40	26	29	25	48
要 請 限 度	昼 間	70	65	70	65	70
	夜 間	65	60	65	60	65

(2) 自動車騒音面的評価

市内でセンサス区間（自動車の運行に伴う騒音の影響が概ね一定とみなせる区間）に指定されている幹線道路20か所（1か所は毎年）の自動車騒音調査を5か年以内に全て行い評価する。（平成24年度から実施）

環境基準値	昼間	70	※幹線交通を担う道路に近接する空間に関する基準値
	夜間	65	

番号	道路名 (調査場所)	センサス 番号	基準点騒音 レベル(dB)		残留騒音レベ ル(dB)		達成率(%)		達成戸数(戸)		全戸数 (戸)
			昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	昼間	夜間	
1	国道16号 (福生市熊川1148-3)	15150	73	74	48	45	83.4	51.8	522	324	626
2	立川青梅線 (福生市熊川204)	41540	69	65	47	41	99.5	98.6	219	217	220
3	立川青梅線 (福生市福生549-1)	41660	65	60	46	34	100	100	90	90	90
4	福生青梅線 (福生市武蔵野台1丁目16)	63030	62	57	51	40	100	100	813	813	813
5	立川青梅線 (福生市熊川711-3)	41550	63	58	50	37	100	100	349	349	349
6	立川青梅線 (福生市加美平3-39)	41380-1	66	61	40	33	99.8	99.8	497	497	498
7	伊奈福生線 (福生市福生656-1)	61120-1	65	60	38	33	99.1	98.7	786	783	793
8	杉並あきる野線 (福生市熊川1633)	41370-1	67	65	36	36	100	100	415	415	415
9	立川青梅線 (福生市福生1211)	41450-1	70	63	50	32	100	100	84	84	84
		41450-2	70	63	50	32	100	100	147	147	147
10	瑞穂あきる野八王子線 (福生市福生1027-14)	61170-1	55	49	42	33	100	100	61	61	61
		61170-2	55	49	42	33	100	100	201	201	201
11	昭島停車場熊川線 (福生市熊川1566-4)	62240-1	67	64	49	38	—	—	0	0	0
12	国道16号 (福生市福生2034-3)	15150-1	75	74	42	37	58.6	43.1	106	78	181
13	杉並あきる野線 (福生市熊川307)	40510-1	68	66	58	47	99.7	89.6	385	346	386
14	立川青梅線 (福生市牛浜25)	41560-1	65	58	48	37	98.8	99.2	591	593	598
15	瑞穂あきる野八王子線 (福生市本町1)	61250-1	60	48	54	41	100	100	247	247	247
16	国道16号 (福生市熊川456-1)	15130-1	56	54	53	44	97.6	94.1	200	193	205
17	立川青梅線 (福生市本町16)	41490-1	68	64	59	52	99.1	98	985	974	994
18	立川青梅線 (福生市熊川139)	41540-1	64	58	52	44	99.9	99.9	732	732	733
19	瑞穂あきる野八王子線 (福生市志茂229)	61260-1	63	58	51	42	98.7	98.7	152	152	154
20	杉並あきる野線 (福生市北田園1丁目12)	40440	66	61	51	42	100	100	343	343	343

※番号1は優先的対策道路区間として毎年評価を行う。

- 測定日時① 令和7年6月23日（月）6時から6月24日（火）6時まで（番号1から番号5まで）
測定日時② 令和6年6月13日（木）0時から6月14日（金）0時まで（番号17から番号20まで）
測定日時③ 令和5年10月2日（月）0時から10月3日（火）0時まで（番号13から番号16まで）
測定日時④ 令和4年11月14日（月）0時から11月19日（土）0時まで（番号9から番号12まで）
測定日時⑤ 令和3年11月17日（水）正午から11月18日（木）正午まで（番号6から番号8まで）

(3) 航空機騒音調査

ア 測定場所 大字熊川1571番地先 誘導灯付近

(単位：デシベル＝d B)

月	測定回数	昼 間	夕 刻	夜 間	最高音圧レベル (d B)	時間帯補正等 価騒音レベル (d B) ※
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	1,223	855	341	27	113	66
5	897	727	158	12	123	65
6	919	696	211	12	103	62
7	932	690	199	43	104	63
8	1,129	873	233	23	111	64
9	1,096	868	213	15	120	67
10	1,161	848	237	76	120	70
11	998	716	242	40	113	64
12	899	639	245	15	111	62
8年1	1,240	953	274	13	102	61
2	684	485	183	16	110	62
3	754	614	117	23	117	65
合計	11,932	8,964	2,653	315		
前年度合計	11,041	8,289	2,548	204		
月平均	994	747	221	26	116	65

イ 測定場所 本町5番地 市役所屋上

(単位：デシベル＝d B)

月	測定回数	昼 間	夕 刻	夜 間	最高音圧レベル (d B)	時間帯補正等 価騒音レベル (d B) ※
		7時～19時	19時～22時	22時～翌7時		
4	146	76	68	2	92	46
5	127	87	37	3	96	47
6	75	49	26	0	88	42
7	85	42	43	0	87	41
8	109	66	42	1	93	44
9	171	98	72	1	88	46
10	176	101	67	8	91	48
11	196	114	75	7	87	46
12	169	94	62	13	89	46
8年1	196	106	89	1	87	46
2	123	60	56	7	85	45
3	145	98	30	17	94	47
合計	1,718	991	667	60		
前年度合計	1,655	1,063	581	11		
月平均	143	83	56	5	91	46

※時間帯補正等価騒音レベル (Lden)：平成25年4月1日から航空機騒音の評価指標となったもので、影響が大きいとされる夕方と夜間の騒音に重み付けをして補正した値を、1日24時間で平均することで算出する。航空機の離着陸などに伴い発生する「飛行騒音」に加え、航空機が滑走路・誘導路上を移動する際の騒音やエンジンテストによる騒音等の地上騒音も測定・評価の対象となる。

(4) 環境騒音調査 市内29地点 (46か所)

測定日：令和8年3月16日から31日まで【平日・昼間】

測 定 地 点			騒音の大きさ (d B)			支 配 音
N o	用 途 地 域	道路との関係	等価騒音レベル(L e q)		環境基準	
			令和7年度	前年度		
1	準 工 業	一 般 地 域	56	52	60	一般音
2	準 工 業	一 般 地 域	49	48	60	〃
3	第1種住居	沿 道	69	67	70	自動車音
	第1種低層	後 背 地	52	46	55	〃
4	近 隣 商 業	沿 道	66	66	70	〃
	近 隣 商 業	後 背 地	57	49	60	〃
5	第1種低層	一 般 地 域	43	62	55	自然音
6	第1種住居	沿 道	69	68	70	自動車音
	第1種低層	後 背 地	48	49	55	〃
7	近 隣 商 業	沿 道	75	76	70	〃
	第1種低層	後 背 地	53	53	55	〃
8	第2種低層	沿 道	64	62	60	〃
	第1種低層	後 背 地	51	52	55	〃
9	第1種中高層	沿 道	64	64	65	〃
	第1種低層	後 背 地	47	46	55	〃
10	第1種低層	後 背 地	46	54	55	一般音
	第1種中高層	沿 道	55	57	60	自動車音
11	第2種住居	沿 道	67	64	70	〃
	第1種低層	後 背 地	49	47	55	一般音
12	第1種中高層	一 般 地 域	50	48	55	自動車音
13	第1種中高層	一 般 地 域	51	51	60	〃
14	近 隣 商 業	一 般 地 域	48	48	65	一般音
15	第1種低層	一 般 地 域	49	55	55	自動車音
16	近 隣 商 業	沿 道	75	75	70	〃
	第1種低層	後 背 地	53	52	55	一般音
17	第2種中高層	沿 道	52	58	70	自動車音
18	近 隣 商 業	沿 道	64	67	70	〃
	近 隣 商 業	後 背 地	53	55	60	〃
19	第1種低層	一 般 地 域	49	53	55	〃
20	第2種中高層	沿 道	62	65	70	〃
	第1種中高層	後 背 地	48	47	55	一般音
21	商 業	一 般 地 域	63	62	65	自動車音
22A	商 業	一 般 地 域	55	61	65	〃
22B	商 業	沿 道	64	65	70	〃
	第2種低層	後 背 地	52	57	55	〃
23	第1種中高層	沿 道	67	68	60	〃
	第1種低層	後 背 地	51	52	55	〃
24	準 工 業	一 般 地 域	54	51	65	一般音
25	近 隣 商 業	沿 道	65	66	65	自動車音
	第1種中高層	後 背 地	48	47	55	一般音
26	第1種低層	一 般 地 域	50	48	60	〃
27	工 業	沿 道	65	65	70	自動車音
	工 業	後 背 地	48	48	65	一般音
28	第1種低層	一 般 地 域	47	43	60	〃
29	第1種住居	沿 道	65	65	70	自動車音
	第1種低層	後 背 地	45	49	55	〃

※後背地の環境基準は、一般地域のものが適用される。

※基準値を超えているものは、色付けをしている。

4 その他

(1) 苦情受付件数

(単位：件)

月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	8年1	2	3	合計	前年度
大 気 汚 染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
アスベスト相談	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
水 質 汚 濁	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
土 壌 汚 染	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
騒 音・振 動	3	4	3	0	1	2	3	0	2	0	0	0	18	10
低 周 波 音	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
航空機騒音	7	4	5	5	2	3	3	1	1	2	2	5	40	283
地 盤 沈 下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
悪 臭	1	0	1	0	2	1	0	0	0	0	0	1	6	7
雑 草	0	2	1	4	2	6	3	1	1	0	0	0	20	29
そ の 他	5	5	8	9	3	4	7	2	1	2	2	0	48	36
合 計	16	15	18	19	10	16	16	4	5	4	4	6	133	368

(2) 申請書等処理件数

(単位：件)

区 分	令和 7年度	前年度	区 分	令和 7年度	前年度
工 場 設 置 認 可	0	0	指 定 作 業 場 設 置 届	2	1
工 場 設 置 認 定	0	0	指 定 作 業 場 変 更 届	0	0
工 場 変 更 認 可	0	0	指 定 作 業 場 氏 名 変 更・承 継 届	2	2
工 場 変 更 認 定	0	0	指 定 作 業 場 廃 止 届	1	0
工 場 氏 名 変 更・承 継 届	2	4	特 定 施 設 設 置 届	0	0
工 場 廃 止 届	0	3	特 定 施 設 変 更 届	0	0
電 気 供 給 通 知 書	0	0	特 定 施 設 氏 名 変 更・承 継 届	4	0
電 気 供 給 証 明 書	0	0	特 定 施 設 廃 止 届	0	0
地 下 水 揚 水 量 報 告	16	16	特 定 建 設 作 業 実 施 届	24	27
建築物の解体に係るアスベスト対策に 関 する 届 出	2	0			

(3) 立入り・測定件数等

(単位：件)

区 分	令和 7年度	前年度	区 分	令和 7年度	前年度
工 場 認 可 関 係	0	0	苦 情 処 理	195	185
指 定 作 業 場 届 出 関 係	0	0	各 種 測 定	189	181
ア ス ベ ス ト 撤 去 工 事 関 係	1	0			

5 環境行政・環境学習の推進

(1) 市民会議等

ア 福生地域ネコの会

令和7年度定例会議 3回開催

イ かんきょう通信編集会議

環境情報プロジェクト『かんきょう通信』の発行
第54号 3回開催

ウ ふっさ花とみどりの会

定例会議 3回開催

花いっぱい運動（春）	やなぎ通り	1か所	1回
花いっぱい運動（秋）	やなぎ通り	1か所	1回
多摩川中央公園フラワーズゾーン花壇管理（除草・植栽・採種等）			10回
視察研修（群馬方面）			1回
花いっぱいコンテスト審査会（春・秋）			2回
花いっぱいコンテスト表彰式（春・秋）			2回

エ ふっさ環境市民会議

定例会議 4回開催

福生打ち水日和 1回開催

打ち水に関する展示の実施内容・手ぬぐいの配布

- ・夏の省エネ資料の配布
- ・市役所訪問者への打ち水の呼びかけ

環境マップづくりに係る会議 1回開催

環境学習講座「埼玉県環境科学国際センターの紹介とクビアカツヤカミキリの生態と防除について」 1回開催（ふっさ環境フェスティバル期間）

展示「環境団体の身近な環境活動状況の展示会開催」 1回開催（ふっさ環境フェスティバル期間）

地球温暖化防止月間キャンペーン 1回開催

環境団体・市民によるエコ活動発表会 1回開催

(2) 福生市環境審議会

令和7年8月20日

- ・福生市環境基本計画実行計画（令和6年度計画）進捗状況について
- ・福生市環境基本計画実行計画（令和7年度計画）について

(3) ふっさ環境フェスティバル

環境問題に対する認識を深め意識の醸成を図ることを目的に、市民参加型のイベントを2本立てで開催した。

ア 多摩川中央公園を会場とした来場型イベント

日時 令和7年6月8日(日) 午前10時～午後3時

場所 多摩川中央公園 げんき広場

内容 ステージイベント(ジョイマン 環境スペシャルショー、明治大学校友会福生地域支部 環境落語、radio234出張生放送 from ふっさ環境フェスティバル、ふっさマジック腹話術 マジックショー、ごみダイエット NOKO エコレンジャーショー、ふっさ草笛サークル 草笛演奏、法政大学山崎ゼミ わくわくほうせい科学実験ショー、Jura×たっけー☆☆「笹の葉奏でるハーモニー」披露♪)、環境に関する展示、フードドライブ、ぬいぐるみの回収、環境に配慮して営業している事業所によるフードブース出展、秋川漁業協同組合「マスのつかみ取り」、東京農工大学 動物ふれあい体験、はらぺこベトベターの満腹大作戦、福生災害ボランティアチェーンソー隊「伐木を使った棒投げ遊び」ほか

出展団体 44団体(一般、事業者、官公庁)

来場者 8,885人

イ まちなか全体を会場と見立てたイベント

開催期間 環境省が規定する環境月間である6月の1か月間

参加団体 99団体(一般、事業者、官公庁)

(うち、実行委員 42団体、一般参加 57団体)

- 内 容
- ① 「私たちの環境配慮」&「ECO FRIENDLY ステッカー」の掲示
 - ② デジタルスタンプラリー 参加者数 63人
 - ③ リポستキャンペーンの実施 参加者数 28人
 - ④ SNS (YouTube・Instagram・X) を活用した環境情報の発信
 - ・YouTube 掲載数 9本
 - ・Instagram 投稿件数 8件
 - ・X 投稿件数 30件
 - ⑤ 「私たちの環境配慮」リレー動画の公開 (YouTube)
 - ⑥ 環境スポット紹介 (市ホームページ)
 - ⑦ パネル展示 (市役所1階ロビー)

(4) 福生水辺の楽校“多摩川で遊ぼう”全14回

第1回	4/13	ヨモギ団子を作って食べよう (雨天のため内容変更) ふっさミニ博物館	(3人、2人、5人)
第2回	5/11	バードウォッチング&ごみ拾い	(11人、13人、9人)
第3回	6/8	ふっさ環境フェスティバルで展示する魚を見つけよう	(21人、21人、4人)
第4・5回	7/13	誰でもできる簡単釣り体験(午前・午後) (午前は自転車ロードレースのため中止)	(20人、18人、6人)
第6回	8/17	いかだで冒険、多摩川で泳ごう	(23人、23人、8人)
第7回	8/24	多摩川の上流部へ行こう	(13人、16人、5人)
第8回	9/14	多摩川の魚を見つけよう	(26人、21人、5人)
第9回	10/12	バッタをゲット	(11人、13人、5人)
第10回	11/9	バードウォッチング&ごみ拾い (雨天のため中止)	
第11回	12/14	クリスマスリースを作ろう (雨天のため内容変更) ふっさミニ博物館	(3人、5人、3人)
第12回	1/11	手作り凧あげ	(17人、22人、5人)
第13回	2/8	デイキャンプ、焚き火であったまろう (降雪のため中止)	
第14回	3/8	かくれんぼ広場で冒険遊び	(10人、10人、7人)
計			(158人、164人、62人)
合計			384人

※()内の参加人数は子ども、保護者、スタッフの順で表示
(参考 令和6年度 全14回)

(5) 福生水辺の楽校“多摩川サポーターズ”全2回

第1回	5/11	水生生物をつかまえて水質をしらべよう	(11人、11人、19人)
第2回	8/17	いかだを作ろう	(12人、11人、7人)
計			(23人、22人、26人)
合計			71人

※()内の参加人数は子ども、保護者、スタッフの順で表示
(参考 令和6年度 全2回)

(6) 小・中学校における多摩川の総合学習支援

市内の小・中学校が多摩川を題材とした総合的な学習の時間において行う体験活動に対し、資器材、教材の提供及び専門的な講師を派遣した。小学校7校及び中学校1校からの依頼により、計31回の学習支援を行った。

内 容 植物昆虫観察、野鳥観察、水生生物観察など

参加人数 延べ1,731人

派遣講師 延べ49人

(7) ふっさミニ博物館

利用者数一覧

第1回	4/13	今年の干支、へびについて学ぼう	(7人、8人、15人)
第2回	5/6	いろいろな鳥について学ぼう(1)	(2人、1人、3人)
第3回	6/8	ふっさ環境フェスティバルに出前展示	(集計せず)
第4回	7/21	昆虫標本を作ってみよう(1)	(7人、6人、13人)
第5回	8/3	昆虫標本を作ってみよう(2)	(5人、4人、9人)
第6回	9/14	いろいろな鳥について学ぼう(2)	(2人、1人、3人)
第7回	10/13	多摩地域のほ乳類について知ろう	(2人、1人、3人)

第8回	11/3	多摩川の鳥について学ぼう	(0人、3人、3人)
第9回	12/14	大型・中型のほ乳類について知ろう	(0人、1人、1人)
第10回	1/11	鳥の巣箱を作ってみよう	(4人、5人、9人)
第11回	2/8	危険な外来生物について知識を深めよう (降雪のため中止)	
第12回	3/8	多摩川の生き物について学ぼう	(1人、2人、3人)
			計 (30人、32人、62人)
			合計 62人

※ () 内の参加人数は子ども、保護者、合計の順で表示

(8) 環境学習教員研修

第1回	7/23	「フィールドで学ぶ ～水質調査、生物調査、川の安全学習～」	19人
第2回	7/25	「福生の自然の変遷～フィールドワーク (旧ヤマジユウ田村家住宅、田村酒造場)～」	17人
			合計 36人

(9) 環境学習講座

市民を対象に、環境意識の醸成を図ることを目的とする全1回の環境学習講座を計画

第1回	10/25	施設見学	7人
-----	-------	------	----

(10) 地域猫去勢・不妊手術費助成事業

オス	メス	計
3匹	4匹	7匹

6 地球温暖化対策

(1) サイクルシェアリング

実証実験を踏まえ、ガソリン使用自動車からの乗換えによる地球温暖化対策、市内の回遊性の向上等を目的に、平成26年度からサイクルシェアリング事業として本格実施を開始した。設備の老朽化等により適切な運用が難しいことから、シェアリング利用を令和3年12月末日、一時利用を令和4年3月末日にそれぞれ終了させた。

令和4年度より、OpenStreet 株式会社と協定を締結し、広域利用が可能となる「HELLO CYCLING」によるサイクルシェアリングを開始した。

《実績》

令和7年度		
利用回数(流出/流入/域内)		利用者数
4月	1,385回 (254/317/814)	740人
5月	1,477回 (299/360/818)	780人
6月	1,429回 (303/360/766)	780人
7月	1,594回 (301/340/953)	767人
8月	1,741回 (306/343/1,092)	892人
9月	1,684回 (333/367/984)	819人
10月	1,574回 (293/377/904)	750人
11月	1,479回 (308/339/832)	747人
12月	1,414回 (303/338/773)	681人
8年1月	1,260回 (224/343/693)	619人
2月	1,200回 (250/320/630)	603人
3月	1,330回 (295/332/703)	734人
合計	17,567回 (3,469/4,136/9,962)	8,192人

令和6年度		
利用回数(流出/流入/域内)		利用者数
4月	1,218回 (227/258/733)	721人
5月	1,411回 (266/304/841)	823人
6月	1,236回 (235/261/740)	658人
7月	1,329回 (231/260/838)	649人
8月	1,428回 (229/275/924)	693人
9月	1,569回 (285/315/969)	717人
10月	1,584回 (300/365/919)	764人
11月	1,714回 (329/382/1,003)	787人
12月	1,519回 (285/322/912)	715人
7年1月	1,234回 (230/267/737)	590人
2月	1,198回 (256/243/699)	550人
3月	1,370回 (258/305/807)	694人
合計	16,810回 (3,131/3,557/10,122)	8,361人

※利用回数の「流出」は市域外に出て行った回数、「流入」は市域外から入ってきた回数、「域内」は市域内だけで利用された回数

(2) 地球温暖化対策推進協議会

- 令和8年3月25日
- ・令和7年度事業について（中間報告）
 - ・令和8年度事業計画書（案）及び予算（案）について

(3) 普及啓発等事業の実施について

ア ふっさライトダウンキャンペーン 2025 (2回)

イ みどりのカーテン大作戦 (参加 19 件)

7 環境マネジメントシステムの運用

平成 20 年度から福生市環境マネジメントシステムとして『環境自治体スタンダード (LAS-E)』を運用。平成 26 年度から LAS-E の仕組みを土台として独自の環境マネジメントシステムを構築し、名称を福生市環境マネジメントシステム (Fussa environmental management system: 略称 F-e) として運用を開始し、地球温暖化対策の推進を図った。

(1) 点検・評価

F-e の取組を市民の行動変容に繋げるため、「点検・評価」を市内事業者の環境に関する取組や、市民向けのサービス・商品等における確認と情報発信として整理して実施した。

日 程	対 象	内 容
令和 8 年 2 月 4 日 (現場訪問により実施)	点検・評価: 武陽ガス株式会社	業務における環境面で特に重視している事柄や環境行動推進徹底のための取組について確認

(2) 推進組織会議等

区 分	開催回数	主 な 議 事 内 容
環境推進委員会	2 回 (うち 1 回は 書面開催)	令和 6 年度実績について、令和 7 年度 F-e 運用における方針、目標設定、点検・評価等について
監査チーム会議	2 回	令和 7 年度 F-e 運用推進に係る改善・変更点、F-e 点検・評価等に向けた取組、F-e の取組について振り返り (広報記事作成)

(3) 研修活動の実施

研 修 名	日 程	対 象	内 容
新任研修	令和 7 年 4 月 3 日	令和 7 年度新規採用職員等	環境マネジメントシステム全般及び具体的な取組について説明
職員個人調査	令和 7 年 12 月中旬～12 月下旬	課長職以下の全職員	職員の環境配慮等について「正誤テスト」、「意識調査」による調査
職員研修	令和 7 年 10 月 31 日～12 月 5 日 (研修システム及び研修動画のデータ配布により実施)	職員、会計年度任用職員、小・中学校教職員、指定管理施設職員	令和 6 年度実績、F-e 取組のポイント、地球温暖化対策の現状と必要性について説明

8 外来生物防除事業

アライグマ、ハクビシン及びクビアカツヤカミキリの市内における生息・被害状況の把握及び防除による自然環境や生態系の保全、農産物被害、感染被害等を未然に防止することを目的として、市、事業者、市民等関係者の協働により、捕獲、防除等を実施した。

(1) アライグマ・ハクビシン

特定外来生物であるアライグマ及び外来生物であるハクビシンの捕獲、防除等を実施した。平成30年度より、定点での捕獲の他に個別対応の捕獲を行っている。

種 名	目撃情報	捕獲防除実績
アライグマ	9 件	35 頭
ハクビシン	4 件	27 頭
合 計	13 件	62 頭

(2) クビアカツヤカミキリ

特定外来生物であるクビアカツヤカミキリの捕獲、防除等を実施した。

- ・被害樹木の見回り 46 日
- ・被害樹木への薬剤散布 130 本
- ・町会・自治会の協力によるチラシ回覧、掲示板へのポスター掲示
- ・幼稚園、保育園、小・中学校等へのポスター掲示
- ・奨励品の交付事業 交付 139,000 円分

9 緑化推進事業（花いっぱい運動）

(1) 草花の苗配布（町会・自治会・学校・公共施設等）

苗 の 種 類	配 布 数
サルビア・ペチュニア	14,400 株
マリーゴールド	14,700 株
パンジー・ビオラ	25,300 株
葉ボタン	4,900 株
合 計	59,300 株

(2) プランター植栽事業

植栽地	内 容
やなぎ通りプランター	(春) マリーゴールド 880 株
	(秋) パンジー 656 株
	(秋) ノースポール 224 株